

Biö-Break

複合冷却水処理剤 バイオブレーク

スライム、藻類、レジオネラなどの
微生物に起因するあらゆる障害を解決。
冷却水処理に、確実なソリューションを提供します。

バイオブレークは、高濃縮運転を行うクーリングタワー向けに開発された、強力な除菌・殺藻作用と、優れた防錆・防スケール作用を併せ持つ、二液型の臭素系複合冷却水処理剤です。

バイオブレーク
の特長

(1) 抜群の除菌力

バイオブレークから生成される次亜臭素酸は、次亜塩素酸よりも優れた除菌力を発揮します。次亜塩素酸よりも揮発性が低いので持続性があり、また、高いpH域でも、強い殺菌活性を維持します。

(2) 設備保全に貢献

バイオブレークを使用したクーリングタワーの冷却水は、次亜塩素酸よりも金属腐食性が小さく、気相腐食が少ないため、冷却水系全体の設備保全に大きく貢献します。

(3) 低ランニングコストを実現

バイオブレークの冷却水中での濃度を制御・管理することにより、注入過多や不足が発生せず、無駄のない運転が可能です。

(4) 環境にやさしい

バイオブレークを用いて処理された冷却水の排水は、臭素の残留性が低いため、環境負荷が小さく、自然にとってもやさしいです。

複合冷却水処理剤 バイオブレイクAR

物理的および化学的データ

商品名	バイオブレイク		
商品番号	AR-110	AR-112	AR-117
形状	液体		
外観	黄色透明	黄褐色透明	黄色透明
比重(20℃)	1.07~1.17	1.12~1.22	1.12~1.22
pH(1.0%)	10.0~11.0	10.0~11.0	10.5~11.5
凝固点	-6℃以下	-8℃以下	-5℃以下
溶解性	水に任意の割合で混合する		

適用水質

商品名	バイオブレイク		
商品番号	AR-110	AR-112	AR-117
pH	7.0~9.0		
全硬度	600mg-CaCO ₃ /ℓ以下		700mg-CaCO ₃ /ℓ以下
理論シリカ	160mg/ℓ以下	180mg/ℓ以下	180mg/ℓ以下
SI値	2.5~5.0	2.5~5.0	2.0~5.0
基礎投入	450mg/ℓ以上		
保持濃度	150mg/ℓ以上		

【使用方法】

① 注入方法

- バイオブレイクARシリーズは、冷却水系統内で、バイオシスGRといっしょに使用します。
- バイオブレイクARとバイオシスGRは、それぞれ別の注入点から、薬品注入ポンプで注入して下さい。

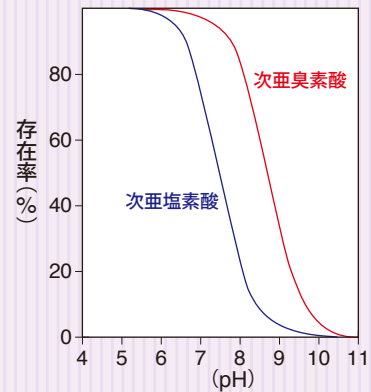
② 取扱い上の注意

- バイオブレイクARシリーズはアルカリ性製剤です。取扱い時には、ゴム手袋、マスク、保護メガネ等を着用し、皮膚や衣類には直接触れないようにして下さい。
- バイオブレイクARとバイオシスGRの原液を、混ぜ合わせて使用しないで下さい。他の薬品とも混合しないで下さい。
- バイオブレイクARシリーズは冷却水処理剤ですので、飲料水や娯楽用水、農業用水、排水処理などの用途には使用しないで下さい。
- バイオブレイクARシリーズの金属に対する腐食性は小さいですが、原液の接液部(送液配管等)に金属を使用される場合は、ステンレス鋼(SUS304やSUS316)をお選び下さい。
- 本製品は、ご購入から1年以内にご使用下さい。保存する場合は、できるだけ冷暗所に貯蔵して下さい。長期間保存すると、沈殿物が発生することがあります。
- 空容器は飲用などに使用せず、必ず破棄して下さい。
- 詳しくは、SDSを参照して下さい。

③ 事故時の処置

- 流出した場合は、できるだけ容器に回収、あるいは拭き取り、回収不能分は多量の水で希釈しながら洗い流して下さい。作業の際には、必ず保護具を着用して下さい。
- 目に入った場合は、多量の水で洗った後、医師の診断を受けて下さい。飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 詳しくは、SDSを参照して下さい。

pHと効力比較



荷姿



10kg/バッグインボックス (PE容器、外装ダンボール)

● 仕様及びデザインは、改良等のため、予告なしに変更する場合がありますので予めご了承ください。

総発売元 東西化学産業株式会社 <http://www.tohzai.co.jp>

本社 〒540-6118 大阪市中央区城見2-1-61(ツイン21MIDタワー 18F) ☎(06)6947-5511 FAX(06)6947-5510
営業本部 〒210-0814 神奈川県川崎市川崎区台町7-11 ☎(044)270-2355 FAX(044)270-2356

仙台支店 ☎(022)223-5452 FAX(022)223-5406	東関東営業所 ☎(047)420-7555 FAX(047)420-7556
東京支店 ☎(044)270-2310 FAX(044)270-2311	静岡営業所 ☎(054)251-1287 FAX(054)251-9715
名古屋支店 ☎(052)529-1840 FAX(052)529-1841	名古屋営業所 ☎(052)529-1840 FAX(052)529-1841
大阪支店 ☎(06)6947-3717 FAX(06)6947-3720	金沢営業所 ☎(076)261-2747 FAX(076)261-2753
福岡支店 ☎(092)272-5331 FAX(092)272-5330	滋賀営業所 ☎(077)516-1600 FAX(077)516-1611
札幌営業所 ☎(011)231-6645 FAX(011)261-4587	大阪営業所 ☎(06)6947-3717 FAX(06)6947-3720
仙台営業所 ☎(022)223-5452 FAX(022)223-5406	神戸営業所 ☎(078)360-4611 FAX(078)360-4612
新潟営業所 ☎(025)249-1348 FAX(025)249-1349	高松営業所 ☎(087)811-2511 FAX(087)811-2512
宇都宮営業所 ☎(028)686-4168 FAX(028)686-4172	広島営業所 ☎(082)263-2772 FAX(082)263-2600
東京営業所 ☎(044)270-2310 FAX(044)270-2311	福岡営業所 ☎(092)272-5331 FAX(092)272-5330
宇都宮分析センター ☎(028)686-4168 FAX(028)686-4172	東京物流センター ☎(03)6457-0097 FAX(03)6457-0098
岡山分析センター ☎(0868)36-8121 FAX(0868)36-8125	東大阪物流センター ☎(072)961-4594 FAX(072)960-4158

製造元 東西工業株式会社

本社 〒540-6118 大阪市中央区城見2-1-61(ツイン21MIDタワー 18F) ☎(06)6947-5511 FAX(06)6947-5510
宇都宮 〒329-1411 栃木県さくら市鷺宿4480 ☎(028)686-4168 FAX(028)686-4172
岡山 〒708-1312 岡山県勝田郡奈義町柿502-9 ☎(0868)36-8121 FAX(0868)36-8125